

謹 啓

皆様のご支援とご協力を得て、進めてまいりました
第12回関西建築家大賞が、この程その審査を終了し、
大賞受賞者が決定いたしましたので別紙の通り発表
いたします。

2013年11月6日

公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
支 部 長 小 島 孜
建築賞分科会
分 科 会 長 竹 原 義 二

発 表

第12回関西建築家大賞受賞者

生 山 雅 英 (いくやま まさひで)

arte 空間研究所 (大阪市北区堂島1-4-4 NJビル7F)

日本建築家協会 (JIA) 正会員 1956年生れ

審査に提出された作品

「houju」

用途	構造	延床面積	所在地	竣工年
専用住宅	RC造+ 一部鉄骨造	122.80 m ²	兵庫県宝塚市	2005年

「WW+」

用途	構造	延床面積	所在地	竣工年
専用住宅	RC造	136.17 m ²	大阪府吹田市	2012年

審査経過の概要

- ・JIA 近畿支部による関西建築家大賞は近畿支部地域で活躍するJIA 建築家に対し、そのすぐれた建築活動を顕彰する目的で発足した。今回はその第12回目であり、2013年3月に募集を開始した。(2013年5月27日締切)
- ・今回の募集は、近畿支部地域内に 2003年1月1日～2012年12月末日迄の10年間に建てられた建築2点の建築活動を行った建築家1名に対して与えられるものである。
(別紙応募要項参照)
- ・受賞者にはJIA 近畿支部から賞状、賞牌(陶芸家・鯉江良二氏作 陶製椀)及び副賞として100,000円が贈られる。準ずる賞「審査建築家奨励賞」の場合は賞状のみが贈られる。
- ・審査員は1人の建築家である。今回は 長谷川逸子氏が審査を行った。
- ・募集締切の5月27日までに6人の応募があり分科会の書類点検を経て、書類審査(図面・写真による審査)及び現地審査を行った。
- ・審査は順調に行なわれ、11月6日、長谷川審査建築家から審査経過及び講評が提出された。

発表及び表彰

- ・建築賞分科会は11月6日付をもって報道関係(新聞、雑誌等)への発表を行う。
- ・受賞者 生山雅英氏に対する表彰は、JIA 近畿支部大会・大阪(2013年11月30日、会場:綿業会館7階)の表彰&鼎談記念イベントにおいて行う。

建築賞分科会は次のメンバーで構成された。

支部長 小島 孜(アーキコラボ小島研究室)

分科会長 竹原義二(無有建築工房)

委員 江副敏史(日建設計)

木原千利(木原千利設計工房)

坂本 昭(坂本昭・設計工房CASA)

山本光良(昭和設計)

遠藤秀平(遠藤秀平建築研究所)

木村博昭(京都工芸繊維大学)

森崎輝行(森崎建築設計事務所)

吉村篤一(建築環境研究所)

第 12 回関西建築家大賞

受賞者プロフィール



生山 雅英 (いくやま まさひで) / arte 空間研究所

1956 年 大阪府出身

1981 年 大阪工業大学工学部建築学科卒業後、建設会社設計部を経て

1990 年 arte 空間研究所設立

2005 年 ~ 大阪樟蔭女子大学非常勤講師

2008 年 ~ 大阪工業大学非常勤講師

受賞歴

1999 年 第 45 回大阪建築コンクール知事賞 [額田の家]

2002 年 JCD デザインアワード 2002 奨励賞 [jojo 心齋橋]

2004 年 Residential Lighting Award2004 優秀賞 [神楽坂の家]

2008 年 日本建築家協会優秀建築選 2007 [houju]

2009 年 第 55 回大阪建築コンクール知事賞 [mon-en]

2012 年 JCD デザインアワード 2012 銀賞 [gip]

第12回関西建築家大賞 審査講評

今回は応募者の中から書類審査を行って5人の各2作品をお見せいただきました。建築家にもお目にかかる中で、二日間での10作品の見学は有意義な体験でした。10年間での2作品ということですので、10年間の設計活動の成果を見せていただく事で、建築家の創作の展開や将来の可能性を確認するという事でした。5人共新しい作品が優れていると感じました。見学の日から毎日考えていましたが、この中から一人の建築家を選出する難しさを思うばかりで、決められなく困っていました。様々な建築審査に関わりましたが、今回程悩まされた事はありません。5人共情熱をもって建築設計に取り組み、いい仕事をしていることは間違いありません。将来を期待させられる作品や新たな建築を予感させる作品もありましたが、誠実に建築づくりに取り組み、常によりよい視点をもって解決してゆくところに新たな建築を展開してゆく力を予感させられたので生山雅英さんを選ばせていただきます。

作品「WW+」は造成地の擁壁に取り込まれた難しい敷地で、その既存の擁壁を取り込み建築を構成してゆく、丘陵地に接した場所に建つ作品です。既存のコンクリート階段を擁壁づたいに登ってゆくと玄関になります。玄関を入ると背後の壁面は山斜面の斜めのコンクリート壁となり上部の子供室まで延びていて、東側スリットから光を受けて斜めの地形と一体となって輝いており、スキップするフロアーにこの壁面で一体感をつくっているように感じました。1階に主寝室とご主人の趣味の空間を配置し、2階にあるリビングダイニングと子供室へと続くこのコンクリートボックスは、土木壁から自立して空中に浮かんでいます。道路面には物を搬入するエレベータールームと駐車場が配置されていて、これは狭さを感じる空間なのですが、上部には道路面の様子からはまったく想像しにくい豊かな空間が展開しています。ライフスタイルもきちんと計画しながら敷地の難しさを解決し、新しい場を創出した力のある作品と感じました。

もう一つの生山さんの宝塚の仕事「houju」はまちを望む高台に建ち、まちに大きく開いた筒型の建築で外皮のあり方をテーマにしている作品です。白いシート防水で覆われた筒状の外周を金属金網で覆ったもので、その間の空気層を持つことで断熱効果を期待しているようでしたが、シート面は熱く、私には効果は汲み取れなかったです。

ステンレス金網に植物を絡ませれば、効果靚面だと思うのですが、見た

ところファブリックと言うだけあって、機能より美しさを求めているらしいと受け取りました。プランはライフスタイルの明解な考えでつくられていて、単純で中央のトップライトも美しく、快適さを感じさせるものでした。

今回見学した敷地の多くが高台などの場所にあり、商品住宅会社が入り込めない様な際立った特徴をもつもので、クライアントの快適なライフスタイルを協賛する生活装置づくりというよりは敷地を生かした空間装置として捉えている仕事が多いと思いました。そして素材感の強さや、内部に外部を取り込む外光の導入など、室内空間レベルの高いものが多く、全て興味深い作品でした。

宮本さんから、住宅の作品を集めた美しい本をいただいたので実物と出会うのに期待していました。しかし住まい方とスケールとの対応に問題を感じました。竹口さん、山本さんの「Dig In the Sky」での細長い敷地への対応は見事で、中庭を斜めに横切るチューブと分散した部屋の立体的な構想に将来を期待したい作品です。

高砂さんの交差の家は2戸とも南にリビング、北側に個室を配置し、両者の階段で1階と2階で交替させるという合理的なプランで、リビングには大きな開口と1階2階をつなぐトップライトとプリズムガラスで光を取り込む美しく明快な作品です。

菅さんの「杉の木の家」は杉の木が林立するようなボイド空間をつくり、南に大開口や天窓で光を入れる暖かな雰囲気の商品でした。菅さんは建築の素材に挑戦していますが、もっと耐久性について追求した方がよいのではないかと思います。

関東の敷地は狭くてもフラットなことが多いので、敷地から発想するよりコンセプトualであったり、アーティスティックな建築家の作品が多く、海外でレクチャーする度、新しい住宅作品を引き合いに出して日本人の今日的生活のあり様を質問される事が度々です。

さらにどの作品も素材感やディテールで存在感の強さや外光の取り組みが積極的であることが特徴的で、今後、関西から真に日本の住宅となりうるような新しい建築が生み出されてゆく可能性を感じ期待しています。

審査建築家 長谷川逸子

第12回「関西建築家大賞」募集

趣旨

(公社)日本建築家協会(JIA)の会員建築家は、その業務において歴史的な文化を継承し、自然環境をまもり、安全で快適な環境をつくり、人々の共感と理解に支えられつつ、人間の幸福と社会文化の形成に寄与すべく日々努力しております。

この建築家の職能をよりいっそう明確なものとするために JIA 近畿支部では近畿支部地域で活躍する建築家に対し、そのすぐれた建築活動を顕彰する関西建築家大賞の制度を設置しております。

本賞は、上記の JIA の理想にもとづき、しかも長期にわたって機能的造形的デザインの力量を実現した建築設計の実績、すなわち過去 10 年間に実現もしくは提示された 2 つの作品を対象とし、唯一人の審査建築家の価値観によって一人の建築家を選考するものです。 2013年4月1日より公益社団法人に移行致しました。

1991年に発足したこの大賞の第1回から第11回までの審査建築家と大賞受賞者は次の方々です。

第1回	審査建築家	川崎 清氏	受賞者	出江 寛氏	第7回	審査建築家	林 昌二氏	受賞者	高口恭行氏
第2回	審査建築家	高橋誠一氏	受賞者	木原千利氏	第8回	審査建築家	穂積信夫氏	受賞者	木村博昭氏
第3回	審査建築家	内井昭蔵氏	受賞者	坂 茂氏	第9回	審査建築家	出江 寛氏	受賞者	江副敏史氏
第4回	審査建築家	東 孝光氏	受賞者	竹原義二氏	第10回	審査建築家	坂本一成氏	審査建築家奨励賞	森下 修氏
第5回	審査建築家	原 広司氏	受賞者	遠藤秀平氏	第11回	審査建築家	香山壽夫氏	受賞者	矢田朝士氏
第6回	審査建築家	阪田誠造氏	受賞者	坂本 昭氏					

今回の審査建築家は 長谷川 逸子氏 です。

【応募要項】

資格 JIA 正会員であること。但し、非会員の方が応募しようとする場合は応募締切日の5月27日までに JIA 正会員資格を取得していること。(JIA 正会員資格を得るには、以下の手続きが必要です。 所属支部へ入会申込書の提出、 理事会での入会承認、 入会金・年会費の払込 手続きには約1ヶ月かかりますので必ず事前に事務局までお問合せ下さい。) また、過去に本大賞受賞者の方は応募不可とします。

作品 2点。近畿支部地域内に完成した建物。前回は応募作品も可。
2003年1月1日～2012年12月末日迄の作品とする。(完成日は検査済証の日付とします)
近畿支部地域内とは、滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県、大阪府、兵庫県をいう。

日程
・応募期間 2013年3月14日～5月27日
・書類審査 " 6月 ・現地審査 2013年7月～9月中旬
・受賞者発表 " 9月下旬 ・表彰式(予定) " 10月頃

登録費 10,000円 (必ず応募締切日の5月27日までに振込頂くか、近畿支部事務局まで直接ご持参下さい。)

応募方法 応募を希望される方は、事前に応募申込書をお送り頂き(E-Mail または FAX)、下記提出図書を各作品毎にまとめて近畿支部事務局までご提出下さい。(下記提出図書、 は指定用紙となりますので、専用ホームページよりダウンロードして頂くか、応募資料請求用紙(裏面)にてご請求頂ければお送り致します。)

【提出図書類】

応募申込書 (E-Mail または FAX にて事前に事務局までお送り下さい。)

図面(配置図、平面図、立面図、断面図、主要矩計図) A3 版図面(見開き A2 サイズ)に製本。クリアファイルも可
(1)写真データ5～10点(JPEG データで解像度300dpi、長辺1200pixel 程度のものをCD-Rに保存のうえ提出下さい)

(2)写真5枚～10枚カット(A4のクリアファイルにおさめる) (1)(2)は内容の異なる物でも可

建築概要:発注者、施工者、構造、用途、階数、高さ、面積

設計趣旨:800字程度

確認(計画)通知書 及び 検査済証の写し

確認申請不要物件の場合は不要理由を明記したものをご提出下さい。

、 、 は指定用紙に記入のこと。(ホームページよりダウンロード可能 <http://www.jia.or.jp/kinki>)

以上の提出図書類を【各作品】毎に収めて2013年5月27日(月)までにご提出下さい。

封筒、図面、写真、にそれぞれ氏名・作品名を明記

作品を持参の場合は9:30～18:00の時間内(土日祝日は除く)、郵送の場合は当日消印有効とします。

応募提出図書類は2013年11月以降に返却致します。また提出図書類作成・送料に要した費用は応募者負担とします。

付記 応募作品や図面・写真等に関する著作権、特許等は応募者もしくは権利保有者に帰属します。ただし、作品発表に関する権利、及び発表に際して作成する制作物の著作権は主催者に帰属するものとします。

【審査建築家 及び 表彰】

審査建築家 長谷川 逸子 氏 (はせがわ いつこ)
 表彰 大賞 1 名。該当者がいない場合は、これに準ずる表彰を行うことがある。
 審査結果は、近畿支部会報誌、新聞及び雑誌等に公表する。表彰関連イベントは未定。
 賞 賞状、賞牌 (陶芸家・鯉江良二氏作品)、副賞 100,000 円

付 記 受賞者は、JIA 近畿支部が関係資料を掲載、展示など、啓発の目的に使用する場合は無償で貸与すること。

長谷川 逸子氏 (審査建築家) プロフィール

略 歴

建築家。静岡県生まれ。

関東学院大学、東京工業大学を経て、1979 年長谷川逸子・建築計画工房(株)設立、主宰となる。1986 年日本建築学会賞、日本文化デザイン賞を受賞。一方、早稲田大学、東京工業大学、九州大学などの非常勤講師、米国ハーバード大学の客員教授などを務め、1997 年王立英国建築協会 (Royal Institute of British Architects) より名誉会員の称号。2000 年第 56 回日本芸術院賞受賞。公共建築賞受賞。2001 年ロンドン大学名誉学位。2006 年アメリカ建築家協会 (AIA) より名誉会員の称号。2008 年フランス Pont d'isy 周辺の再編成コンペ 1 等賞獲得。

お問合せ・提出先 公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
 建築賞分科会 (事務局)
 〒541-0051 大阪市中央区備後町 2-5-8(綿業会館)
 TEL06-6229-3371 E-Mail jia@bc.wakwak.com

振込先 (登録費)
 三菱東京 UFJ 銀行 大阪営業部
 普通預金 1147965
 公益社団法人日本建築家協会近畿支部

きりとりせん

第 12 回関西建築家大賞 応募関係資料請求用紙 (FAX 返信 06-6229-3374)

フリガナ 応募者氏名		
勤務先		
連絡先	〒 TEL _____ FAX _____ E-Mail _____	
種別 何れかに を	JIA 正会員です	JIA に入会していません (入会資料送付を希望します)

応募関係資料は専用ホームページ (<http://www.jia.or.jp/kinki>) よりダウンロードすることも可能です。